

令和2年度 就職希望先の決定から内定までの手順

(現3年次用 年度毎にスケジュールには変更があります ※大まかな流れは変わりません)

— 高卒就職の基本 —

「一人一社の原則」: 高校生の就職活動において、企業へのエントリー（応募書類の受付）は**9月5日**に一齐に始まる。その際、一人の生徒が応募できる企業を一社のみとする原則である。

数多くの求人の中から**“自分が応募する一社”**を決めるまでの流れを確認しましょう。

5月22日～

進路調べ

昨年度、学校に届いた求人から、応募したい企業を3社選んでレポートにまとめます。「今回選ぶ企業がそのまま希望企業になる」という気持ちで真剣に選びましょう。

6月下旬～

三者面談

進路調べのレポートをふまえて、生徒、保護者、担任の三者で就職希望先の相談をします。事前に家庭で十分な話し合いを行ってください。

面談終了後

就職斡旋^{あつせん}依頼書提出

職業安定所（ハローワーク）に代わり、学校が生徒に職業を紹介します。そのためには依頼書の提出が必要です。

7月1日～

求人票受付開始

7月1日になると、企業からの求人票が学校に届き始めます。求人票が来ない企業には応募できません。

7月上旬～

企業見学申込書提出

高卒就職の場合、応募の前に必ず企業見学を行います。学校に届いた求人から1社を選んで見学を申し込みます。

「企業見学申込書」を提出した企業が“あなたの就職希望先”です。
基本的には見学した企業にエントリー（応募）することになるので慎重に決定してください。

7月下旬

校内推薦会議
(就職希望先確定)

例年3年の1学期までの成績や遅刻欠席などを基準に、就職希望先に生徒を推薦するための会議を行います。会議で認められれば就職希望先が確定します。

7月下旬
～ 8月

企業見学

- ① 日時設定
企業から学校に見学の日時が連絡されます。
- ② 事前指導
当日の持ち物や服装を確認します。また、実際に足を運び、企業の下見を行います。
- ③ 見学当日
企業は生徒の人物像を厳しくチェックしています。試験だと思って臨みましょう。

(見学終了後)

就職試験応募先決定

原則として見学した企業に応募します。
同時に「就職希望先申込書」を提出します。

— 期末終了後の動き —

放課後や夏季休業を利用して各自で動き始める

面接練習

企業見学の7月や9月の面接の受け方について個別指導を行います。面接練習はどれだけ回数をこなせるかが勝負です。

履歴書・調査書作成

生徒は履歴書（統一応募書類）を作成する。作成にはボールペンを使い、誤字なく丁寧な字で書けるまで何度も書き直す。担任はクラスの生徒の調査書を作成する。

9月5日

応募書類受付開始

履歴書・調査書等の応募書類を、受け付け開始日に応じて学校の進路指導部がまとめて提出します。

合 否 通 知

合格すると多くの場合、内定通知書等が企業から届きます。内定した企業には、必ず入社しなければいけません。

合 格

不 合 格

内定通知に入社承諾書などが同封される場合、礼状と併せて返送します。返送の前には担任の確認が必要です。

内定通知書交付

再受験先選定

もし不合格になってしまった場合は、新たな企業を選び直します。会社見学をしてから再受験先を決定します。

入社承諾書・礼状送付

再 受 験

10月1日以降は、複数受験（2社まで）を可とする会社もあります。詳しくは進路指導担当の先生に問い合わせてください。

※ さらに詳しい手順は「進路の手引き」38～39ページに掲載されています。

新型コロナウイルスの影響が心配されますが、学校全体で3年生のサポートをします。一緒にがんばろう。